

赤潮情報第41号

(八代海：マーガレフィディニウム sp. 笠沙型、シャットネラ属警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

マーガレフィディニウム sp. 笠沙型が280細胞確認されており、引き続き嚴重な警戒が必要です。

本日、県が調査したところ、**マーガレフィディニウム sp. 笠沙型(旧名:コクロディニウム sp. 笠沙型)**が海水1mL 当たり最大**280細胞**、**カレニア ミキモイ**が海水1mL 当たり最大**54細胞**、確認されました(詳細は下図を参照)。今後の気象、海況によって、増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

両種ともに有害で、魚介類をへい死させる恐れがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意し、餌止め(養殖魚の活動を静めるため)を行うとともに、状況に応じて赤潮駆除剤散布、生簀の足し網・沈下・移動、緊急出荷(生簀の中では、養殖魚介類のへい死が避けられない場合)等の対策を行ってください。

なお、シャットネラ属は全ての地点で確認されませんでした(現在警報発令中)。

※数字は水深0m、2m、5m、10m 層の海水1mL 当たりのマーガレフィディニウム sp. 笠沙型の細胞数です。

()の数字はカレニア ミキモイの細胞数です。

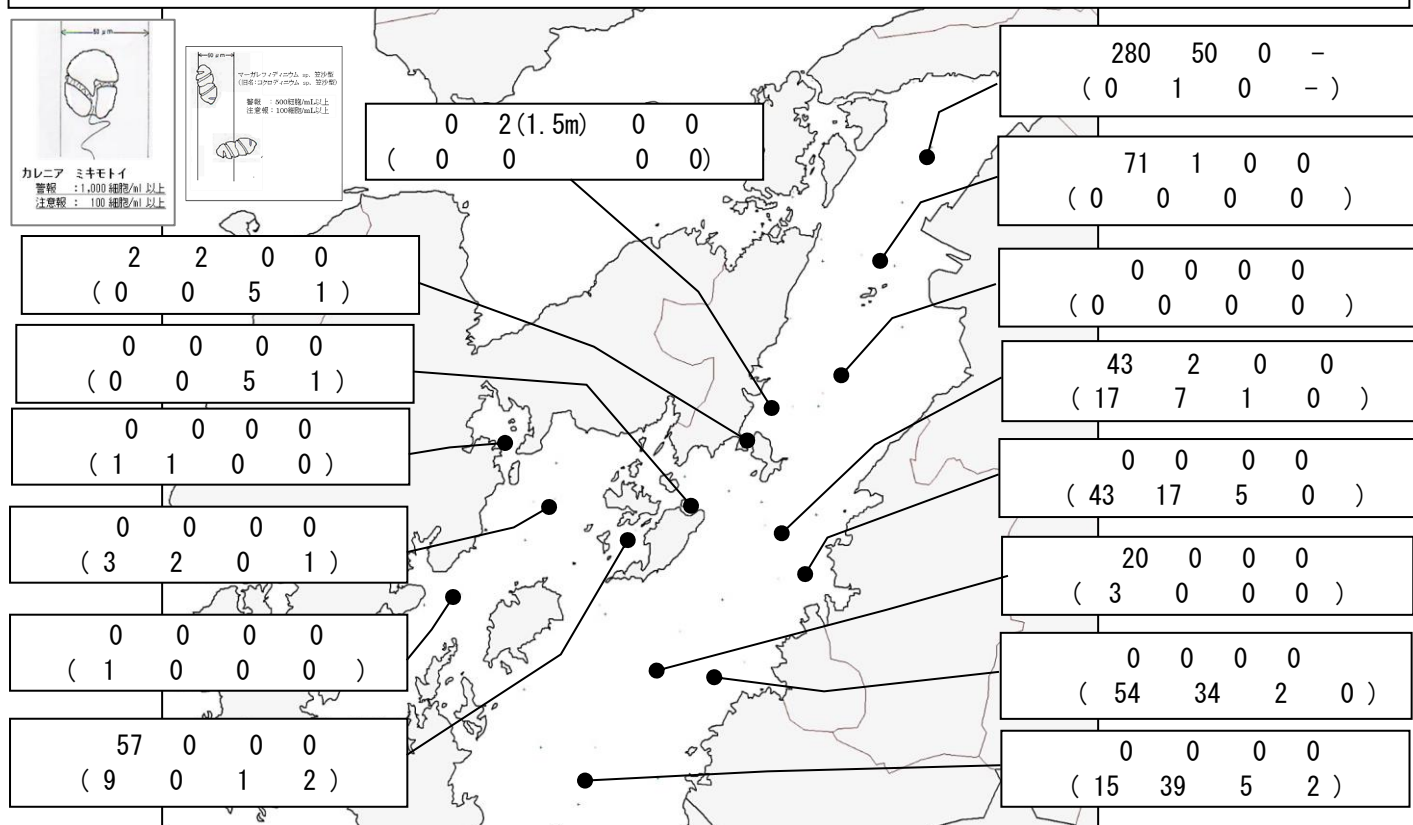


図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/264971.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/distributionInit.php?qkaiku_id=1

赤潮情報
ホームページ

赤潮ネット

